



防災力向上へ 積極提案！

甚大な被害を広げた御嶽山噴火から1ヶ月。2週連続した大型台風など自然災害の脅威と、万が一の備えを考えさせられます。9月市議会で提案した防災対策について紹介します。

待遇改善へ 条例改正 消防団

火災や災害時に出勤する消防・救急隊員のサポートの一翼を担う消防団。H25年12月18日に「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」が施行されました。

遇改善に条例改正を計画している」と答弁しました。

しかし流山市では、消防団員の定数355名に対し304名（H26年3月末現在）。大幅な不足です。

9月議会決算委員会では、小田桐たかし市議以外にも4名の委員が改善を求め質疑。副市長が「待

今年6月議会では、『消防団員の安全と団員の確保強化を求める意見書』（①規模の大きな水門（約7千基）の自動化等への支援強化、②消防団員の処遇改善、③消防団協力事業所に対する事業税の減免措置や入札参加における優遇措置の強化）が可決され、国・県に提出されました。

案 ペット同伴の避難所設置を 福祉避難所の増設・周知を

小田桐市議は防災力向上へ、様々な角度から政策を提案しました。

「ペットと一緒に避難できる避難所を市内4地区ごとに確保を」との提案は、議会全会派が一致した要望に位置付けられました。

また、内閣府の調査結果を示し、福祉避難所の周知不足の問題点を指摘。さらに、高齢者だけではなく、自閉症児やLD・ADHD等

の子どもたち等が家族と一緒に避難できる施設を、民間の力も借りて整備するよう求めました。



日本共産党市議会議員

小田桐たかし